

荒川ダム群等の現況と今後の対策について



二瀬ダム（平成20年10月10日撮影）

平成20年10月16日

関東地方整備局

1. 荒川ダム群等の現況

1) 荒川水系

(1) 降水量

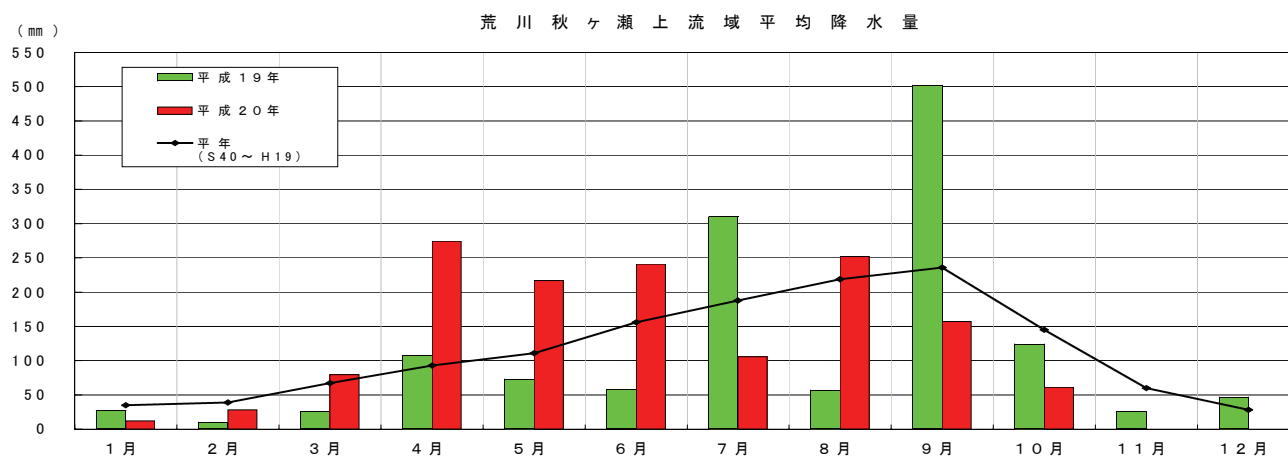
平成20年の荒川の秋ヶ瀬上流域平均降水量は、1月から9月の累加降水量が1,367mm（平成比119%）となり、年降水量の平年値1,377mmに並ぶ降水量となりました。これは、昭和40年以降44年間で9番目に多い記録となっています。

4月は低気圧の影響により、月降水量が275mm（平成比295%）で昭和40年以降1番に多く、5月も低気圧の影響により、月降水量が217mm（平成比195%）で昭和40年以降2番目となり、さらに6月も梅雨前線の影響により、月降水量が241mm（平成比154%）で昭和40年以降4番目に多くなっています。

7月の月降水量は106mm（平成比56%）で平年を下回り、8月は雷を伴う大雨の発生、前線や低気圧の影響により月降水量が252mm（平成比115%）で平年をやや上回り、9月の月降水量は157mm（平成比67%）で、平年を下回りました。

10月の月降水量は、14日までに61mm（平成比42%）となっています。（図－1、表－1参照）

図－1



表－1 荒川秋ヶ瀬上流域平均降水量

単位 (mm)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
昭和62年	16	29	66	8	66	88	146	103	280	91	46	36	975
平成2年	22	67	83	138	48	55	77	228	473	134	301	31	1,657
平成6年	42	44	64	25	111	103	152	142	344	119	21	24	1,191
平成8年	1	22	55	62	80	47	204	32	314	74	57	17	965
平成9年	21	13	57	70	187	168	148	72	204	7	87	21	1,055
平成13年	98	17	98	30	179	120	69	279	444	247	67	9	1,657
平成19年	27	10	26	107	73	58	310	57	502	124	26	47	1,367
平年 (S40-H19)	35	39	67	93	111	156	188	219	236	145	60	28	1,377
平成20年	12	28	79	275	217	241	106	252	157	61			1,428
平年比 (%)	34	72	118	295	195	154	56	115	67	42			104

平成20年10月14日まで

※. 秋ヶ瀬上流域面積 2,021km²

(2) 荒川3ダムの貯水状況

平成20年春期の荒川3ダムは、前年の終りから平年をやや上回る貯水量で推移していましたが、4月の多雨の影響により貯留が進み、5月11日には貯水量7,884万 m^3 、貯水率91%（平年比117%）に達しました。

その後、5月、6月の降雨もあり、夏期制限水位に移行した7月1日9時には、貯水量は5,618万 m^3 で、夏期制限容量（5,673万 m^3 ）に対する貯水率は99%、平年比104%となりました。

梅雨明け後も、荒川の流況が比較的良好であったため、夏期制限容量に対しほぼ満水の状態で推移しました。

10月15日9時現在の貯水量は、4,952万 m^3 、貯水率57%、平年比89%と平年をやや下回っています。（表－2、図－2参照）

表－2 荒川3ダム貯水量

平成20年10月15日9時現在

ダム名	有効容量 (万 m^3)	貯水量 (万 m^3)	貯水率 (%)	前日補給量 (万 m^3 /日)	平年比 (%)
二瀬ダム	2,000	495	25	－15	66
荒川貯水池	1,020	1,011	99	－1	102
浦山ダム	5,600	3,446	62	－10	91
3ダム合計	8,620	4,952	57	－26	89

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。

（プラスの場合はダムの集水区域からダムへ流入してくる水より、ダムから放流する量が多い）

図－2

荒川3ダム貯水容量図

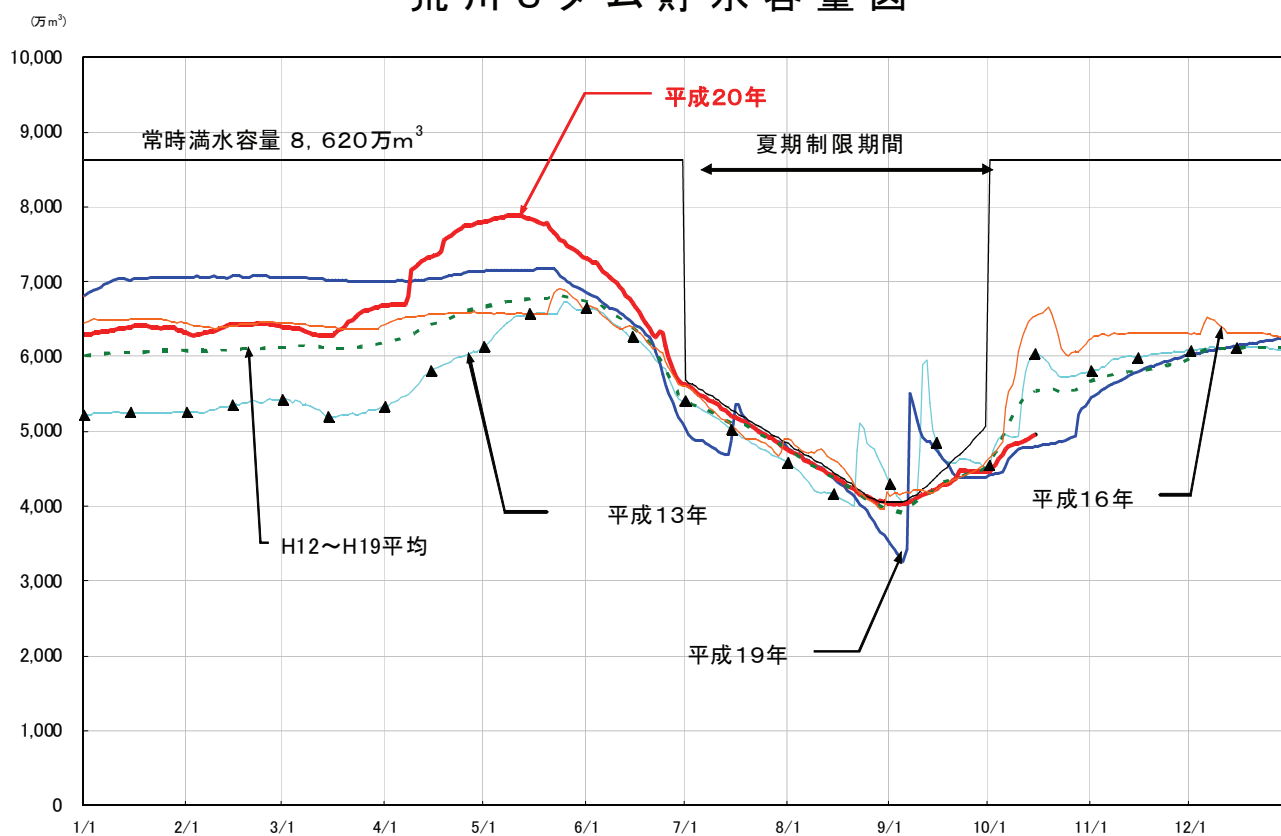


図-3

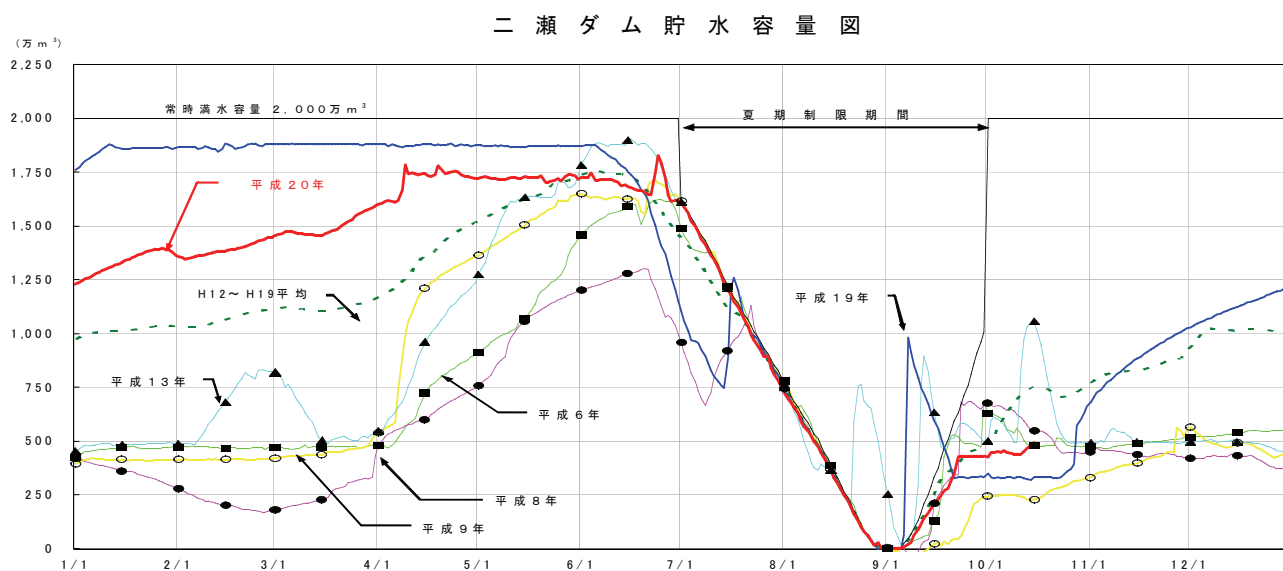


図-4

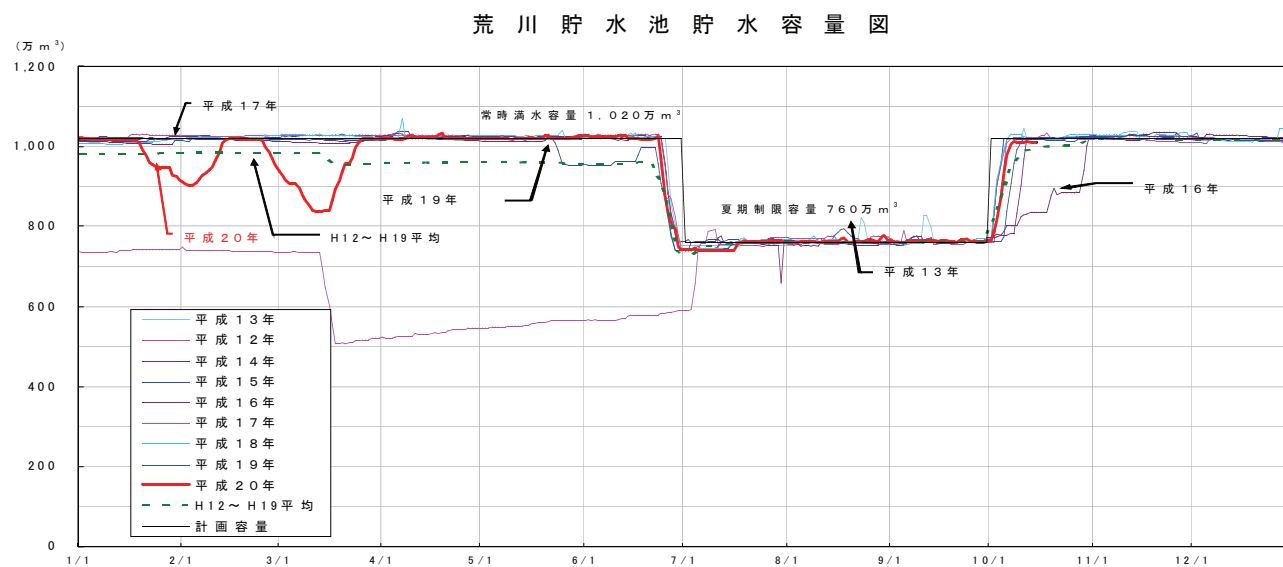
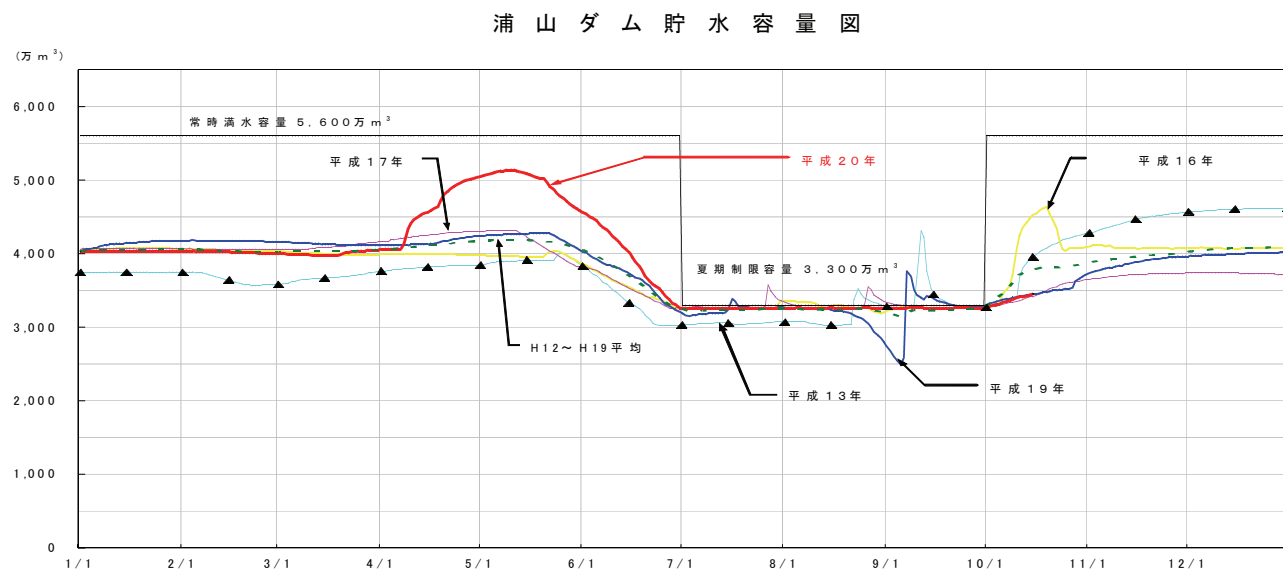


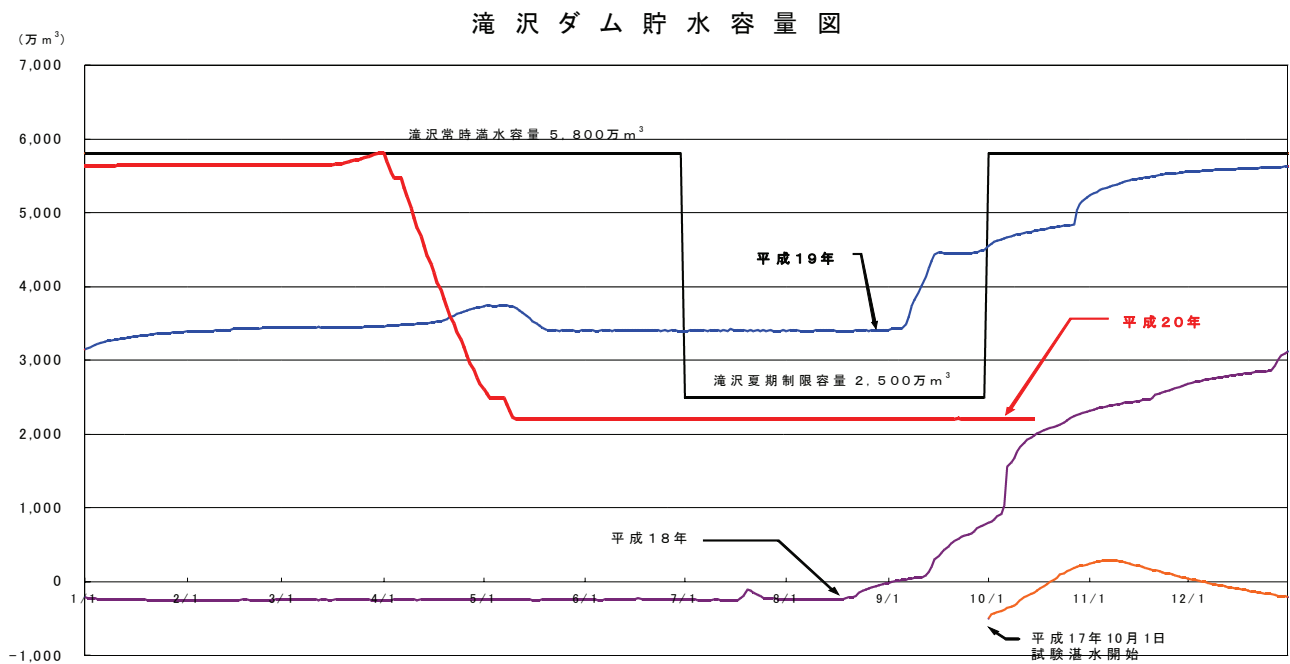
図-5



(3) 滝沢ダム の 現 状

10月15日9時現在の貯水量は、約2,200万 m^3 、貯水率38%となっています。(図-6参照))

図-6



2. 非洪水期における工事制限水位等について

	工事主体	ダム名	工事名	工事概要等	工事期間												
					平成20年										平成21年		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
二瀬ダム	二瀬ダム管理所	二瀬ダム	砂れき搬出工事 放流設備修繕工事	貯水池内の堆砂を二瀬ダム直下へ運搬する。 放流設備（H B V）の修繕工事を行う。													
			制限貯水位 EL514.0m , 518.0m 制限期間 平成20年9月19日から平成20年11月30日														
滝沢ダム	荒川ダム総合管理所	滝沢ダム	試験湛水	地すべり対策工を実施													
			最低貯水位 EL495.0m 最低水位予定日 平成21年8月上旬予定														

3. 今後の見通し及び対策

(1) 見通し

- ①. 平成20年10月10日発表の気象庁の1か月予報によると、10月11日から11月10日の関東甲信地方の降水量については、「少ない」となっており、9月25日発表の気象庁の3か月予報によると、降水量は、10月は「平年並み」、11月は「多い」、12月は「平年並み」となっています。また、9月25日発表の気象庁の寒候期予報によると、12月から2月の降水量は、「多い」となっています。

1か月予報（平成20年10月10日発表）

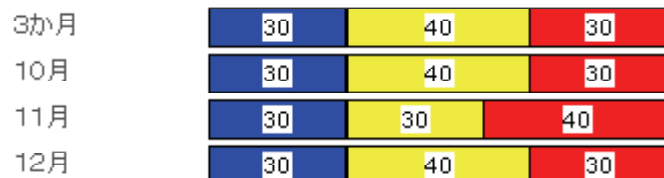
<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



3か月予報（平成20年9月25日発表）

【降水量】

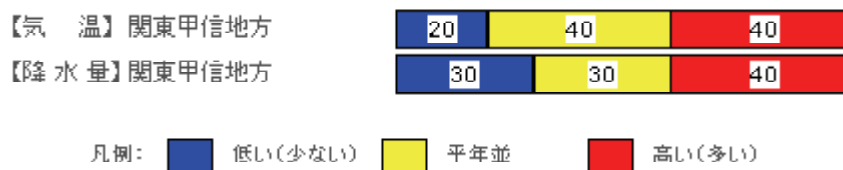
[関東甲信地方]



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

寒候期予報（平成20年9月25日発表）

<冬(12月～2月)の気温、降水量の各階級の確率(%)>



(2) 対策

①. [荒川水系におけるダム群の貯水量の確保]

荒川ダム群のうち、二瀬ダムについては、ダム運用上、重要な工事を実施するため、貯水量を制限した運用を行います。12月までには工事を完了させる予定です。

荒川ダム群及び下流部の水資源開発施設においては、今後の降雨状況及び下流部の水利用を踏まえたきめ細かい運用を行い、ダム貯水量の確保に極力努め、冬期及び来春の水需要に備えます。

②. [荒川水系渇水調整協議会の取り組み]

現在のダム等の供給能力は、首都圏の水需要の大きさに対して十分とはいえない状況にあります。荒川水系渇水調整協議会としては、今後も水資源の有効利用に努めるとともに、取水制限等の渇水対策が必要になった場合には、機動的に対応していきます。